

草の根 通信

VOLUME
98

Kusanone Tsushin

[2019年3月発行]



特集

兵庫・姫路大会

寄稿／塚本 宏

・神戸の発展に貢献した小寺家

- ・ローカルツアー
- ・オープニングとクロージングの会場紹介
- ・地域分科会
- ・ポスト・サミット・オプショナル・プログラム

Think Big, Act Honestly

私たちが大切に受け継ぐ価値観は、
所期奉公、処事光明、立業貿易の「三綱領」です。
これから切り拓く「つぎ」のステージでも、
大きな視野や構想を忘れず、正々堂々と誠実に。
ビジネスを通じてより良き社会のために尽くしたい。
私たち三菱商事の永遠の使命です。

動き出した「つぎ」にご期待ください。



第29回日米草の根交流サミット2019

兵庫・姫路大会

第29回日米草の根交流サミット大会は、今年6月25日(火)より1週間、兵庫県各地で開催されます。プログラムのメインとなる「地域分科会」は兵庫県内10市のご協力により、各市の特徴を活かしたセッションが用意され、それぞれの地域のキーパーソン、ボランティアの方々がアメリカの参加者を受け入れるべく用意をしています。また、アメリカ側での参加者募集活動も活発に行われています。

兵庫・姫路大会を招致してくださった、井戸兵庫県知事、石見姫路市長、また大会実行委員長である尾山神戸日米協会会长（株式会社アシックス代表取締役会長兼CEO）のメッセージをご紹介します。

ご挨拶



井戸 敏三
兵庫県知事

第29回日米草の根交流サミットが、姉妹提携55周年を迎えたワシントン州に続き、兵庫県で開催されます。心から歓迎します。

北は日本海、南は瀬戸内海、太平洋を望む兵庫県は、大都市から農山村、離島まで様々な地域から成り、その多様な気候と風土から「日本の縮図」といわれています。この多様性が兵庫の持つ最大の魅力であり、また、多くの外国人が地域社会で活躍し、多文化共生の気風も息づいています。

兵庫・姫路大会は、世界遺産・姫路城を舞台に始まり、地域の個性豊かな分科会へ。最後は、国生み伝説の島・淡路で締めくくります。ぜひ兵庫の多彩な魅力を直接肌で感じてください。皆様のお越しを心よりお待ちしています。



石見 利勝
姫路市長

第29回日米草の根サミット2019兵庫・姫路大会が、姫路市で開会されることを大変光栄に存じますとともに、参加される皆さまを心から歓迎いたします。

オープニングセレモニーと歓迎セレブションが開催される姫路市は、世界文化遺産・国宝姫路城や書写山圓教寺などの名所をはじめ、姫路城の城下町に守り継がれてきた歴史や文化、温暖な気候の下で育まれた自然など、豊富で多様な資源に恵まれた魅力あふれる都市として知られています。

歴史、文化、自然などの多彩な魅力に満ちた姫路市を舞台に、日米の市民が相互理解と親交を深め、友情を育む「草の根の交流」が生まれることは、大変意義深いと考えます。

米国の皆さんと姫路市でお会いできることを心から楽しみにしております。



尾山 基
神戸日米協会会长
株式会社アシックス
代表取締役会長兼CEO

日本と米国の草の根交流を推進する第29回草の根交流サミット大会が、兵庫で開催されることを神戸日米協会会长として、心より歓迎いたします。兵庫は、1868年の神戸港の開港以来、諸外国と交流しながら多種多様な異国文化を形成し、今や多文化共生を推進する日本有数の拠点として、進取の気性と多様性に満ち溢れています。

兵庫・姫路大会は、兵庫の魅力が満載です。皆様には、世界遺産の姫路城はもとより、兵庫各地の素晴らしい文化、食、風景等に触れていただき、兵庫を知り、兵庫をより一層好きになり、兵庫を架け橋に日米交流の促進に寄与していただければと思います。皆様のお越しを心よりお待ち申し上げます。

第28回 シアトル・ワシントン大会 クロージング式典に
片山安孝産業労働部長と兵庫県マスコット「はばタン」が登場!!

第28回シアトル・ワシントン州大会のクロージング式典には、兵庫県から片山安孝産業労働部長とマスコットの「はばタン」が、ハイアット・リージェンシー・レイク・ワシントンの会場に駆けつけ、ホストファミリーやボランティアたちに兵庫県の魅力と世界遺産姫路城を紹介していただきました。



兵庫県内10市で 地域分科会を開催!!

日米草の根交流サミットの最大の目玉は、地元の歴史や文化に直接触れ、体験し、ホストファミリーやボランティアと濃密に交流できる「地域分科会」です。兵庫・姫路大会では、兵庫県内の10市で分科会が開催されます。

各地域の魅力と、ホストファミリーやプログラムをコーディネートする分科会に欠かせないキーパーソンをご紹介します。

6月27日(木)～6月29日(土)



ローカルセッションエリアとキーパーソン (キーパーソンは、ローカルセッションを調整するボランティアです。)

① 姫路市

姫路市は、兵庫県南西部にある播磨地域の中心で、北部には山間地域が、南部には瀬戸内海が広がる自然に恵まれた都市です。街の中心には世界文化遺産・国宝姫路城があり、「ラスト・サムライ」のロケ地としても有名な書写山圓教寺などがあり、歴史とロマンを感じることができます。また、日本酒や皮革の産地としても有名で、伝統ある地場産業が息づいています。魅力あふれる姫路で皆様のお越しをお待ちしています。



キーパーソン

小林直樹さん



姫路市文化国際交流財団の事務局長を務めています。姫路における文化及び国際交流を振興するため、日々取り組んでいます。姫路は、姫路城に象徴されるように歴史と文化に恵まれた、美しい街です。滞在中のプログラムを通じ、姫路の魅力を皆さんに紹介し、すばらしい思い出を作るお手伝いができるることをとても楽しみにしています。

② 神戸市

神戸は街を山と海に囲まれ、都市と自然の魅力がバランスよくマッチしています。六甲山からは「100万ドル」の夜景と呼ばれる美しい街並みを眺めることができ、日本三大古泉の一つに数えられる有馬温泉でゆっくり体を休めることができます。一方で古くから港町として栄えた洗練された街並みはユネスコから「デザイン都市」にも認定されています。また神戸は「神戸牛」でその名を世界中に知られ、日本酒の一大生産地でもあり、日本を代表する食の都でもあります。



キーパーソン

中山裕美子さん・浅井泰さん

神戸市役所の国際課で姉妹都市交流を担当しています。神戸市はシアトル市と姉妹都市提携を行っており、2017年に提携60周年を迎えました。互いに最初の姉妹都市で長い交流の歴史があり、シアトルはじめアメリカの皆様にはとてもなじみがあります。伝統とモダンが融合する美しい神戸で皆様にお会いできる日を楽しみにしています!



③ 西宮市



キーパーソン

田中 京子さん



約100km²の面積を有する西宮市は、山と川と海が南北に連なる自然が特徴です。山からの伏流水がかつて海であった地層を通って湧き出る水は「宮水」と呼ばれ、キレのよい日本酒づくりの素となっています。海からの風を感じながら大阪湾を一望できる西宮のヨットハーバー。1962年、単独で太平洋横断航海を成功させた堀江謙一氏の小型ヨットはこの西宮から旅立ちました。

④ 宝塚市



キーパーソン

加藤 啓子さん



宝塚は、古さと新しさがうまく交じり合ったまち。国宝に指定されている本尊を持つ清荒神清澄寺や中山寺をはじめ、多くの古く重要な寺社仏閣があります。また、100年を超える歴史を誇り、女性だけで演じられることで有名な宝塚歌劇、そして、この歌劇から大きな影響を受けた日本を代表するマンガ家・手塚治虫が過ごしたまちです。色んな顔があるまち宝塚に是非触れてください。

⑤ 篠山市



キーパーソン

松本 正義さん



デカンショ節発祥の地「丹波篠山」。篠山市で歌い継がれてきた「デカンショ節」は日本遺産に認定されました。緑の山々に囲まれた自然豊かな地域で日本の原風景と言われる景観が今も残っており、また、有名な丹波篠山黒大豆、丹波篠山山の芋や丹波栗など特産品もたくさんあります。そして、篠山城跡を中心に武家町や商家町の町割り、武家屋、商家や寺院など城下町の要素をよく残し、歴史や文化を今日に伝えています。

⑥ 丹波市



キーパーソン

山口 直樹さん



丹波市は、兵庫県の中央東部に位置し、美しい自然や田園風景が広がる緑豊かなまちです。市内の清流では、ホタルが乱舞する神秘的な光景を目にすることができます。興禪寺や柏原藩陣屋跡などの名所のほか、1億数千万年前の地層から発見された恐竜化石の全身骨格模型を展示した施設などがあります。自然や歴史などの日本の田舎の雰囲気を体験していただけますので、是非、丹波市にお越し下さい。



あたたかい空へ。あたらしい空へ。

ANA Inspiration of JAPAN

A STAR ALLIANCE MEMBER



神戸の発展に貢献した

神戸と言えば誰しも国際性豊かな港湾都市を思い浮かべるでしょう。150年前には鄙びた漁村に過ぎなかった神戸村が、今日のように大発展を遂げるのに大きく貢献したのは、摂津三田藩・最後の藩主九鬼隆義を筆頭とする家臣団でした。「鳥羽水軍」の末裔ながら、三田で雌伏せざるを得なかった九鬼氏が明治になって海へ「里帰り」を果したという因縁話になります。

その一人が、小寺泰次郎(1836–1904)です。元々、郷掛(年貢徵収役)という下級武士でしたが、経理に明るく商才に長け、先見性に優れた彼は隆義に抜擢され、白洲退蔵とともに志摩三商会の設立に参加、繁盛させました。その後、独立し地租改正に乗じて、外航船の着岸に有利な点に着目して兵庫港より東側の土地、ご存知の元町、三宮周辺の土地買い占めに走ります。海外に向けて飛躍する神戸の将来を見据えた不動産投機は見事に的中して一躍、大富豪の仲間入りしました。

がめついだけの吝嗇な商人と思いきや、彼は近代都市計画に欠かせない「道路の新設・拡幅」に手腕を発揮し、自己所有地を公道として寄付するなどインフラ整備に貢献しています。また、私心のない「慈善家」としても有名で学校を



小寺泰次郎像(部分)
神戸市立小磯記念美術館蔵

はじめ多くの公共事業に多額の寄付を行っています(家憲に言い残したそうです)。まさに今日的な「フィランソロピー」の先駆者でした。一方、一家の生活は謹厳実直、質素を旨とし、子供たちへの教育も非常に熱心で見事な閨閣(その一端は後述)を形成したのです。

泰次郎の長男、小寺謙吉(1877–1949)もまた神戸にとって忘れてはならない恩人の一人です。父の建築した広壯な小寺本邸(現在の「相楽園」)で生を享け、何不自由ない生活を送って小事に拘泥しない磊落な性格の持ち主に成長します。

その学歴も半端ではありません。1897年に米国へ留学し、エール、コロンビア、ジョンズ・ホプキンスの各大学で法律・政治学を学び、学位を取得したのち、さらに欧州へ渡りハイデルベルク、ジュネーブ両大学でも国際法学の勉強を続けます。ちょうど、日露戦争の勃発で急遽呼び戻されますが、外国语に堪能な彼は諸外国の従軍記者相手のスポーツマンを務めて兵役を終えています。

1904年に31歳の最年少記録で兵庫県選出の衆議院議員に当選します。以後、6期連続当選を果たす国際政治に精通した「学者代議士」の誕生でした。しかし、政治家としての謙吉の人生は、決して順風満帆ではなかったのです。短絡して



小寺謙吉



相楽園 船屋形（重要文化財）



相楽園 旧ハッサム住宅（重要文化財）



相楽園 日本庭園



相楽園 総ヶヤキ造の正門

小寺家

寄稿 特定非営利活動法人
中浜万次郎国際協会 塚本 宏

語るとすれば、欧米の社会を実体験して自由と民主主義の洗礼を受けながら、大正デモクラシーの波にも乗れず、政党政治による軍閥内閣にも同調できないまま、1930年、37年の2回、連續落選をして中央政界から一旦は身を引いてしまいます。

しかし、戦後になって70歳過ぎの謙吉は、1947年に新たな選挙制度のもと、初代の「公選」神戸市長として見事にカムバックを遂げ、戦災後の神戸の復興に全力で取り組んだのです。残念ながら任期半ばに急逝されたので、僅か2年半の短期間でしたが、彼の尽力のおかげで、市の管理による国際港の建設や、神戸博覧会、高速度鉄道会社などが次々に実現（いずれも没後でしたが）するのです。

そのほか、三田学園の創立（初代校長）、早稲田大学への「小寺文庫」寄贈（3万6千冊を越す「洋書」）など、教育者としての謙吉の面目躍如たるものがあります。

この小寺家と中浜家とが姻戚関係になる経緯を簡単に述べてみましょう（「中浜東一郎日記」から）。

土佐山内藩出身で東京帝大・法科大学長を務めた土方寧（1859-1939）の妻・常子（実は泰次郎の次女）が、実弟又吉（泰次郎の四男）のために仲人役を務め、東京・青山在住の代議士・謙吉と東一郎の麹町宅を頻繁に往来して、当時、学習院女学校在学中の才媛・綾子（東一郎の三女）と東京帝大・工科大学校卒の工学士又吉との婚約を成立させ、

又吉の恩師・斯波忠三郎・帝大教授を媒酌人として目出度く結婚式を挙げます（1915年）。

以後、お互いに実父を尊敬していた、東一郎と謙吉は大変ウマがあり、非常に親密な親戚付き合いが東一郎の晩年まで長く続きます。先孝の法事に参列、盆暮れの贈答は勿論、東京、神戸への相互訪問が、当時としては驚くほど頻繁に行われていました。

最後に、又吉・綾子の次女・小寺敏子（1920-2015）は、漢方鍼灸師として国際的にも活躍し（数か国語に堪能）、全国初の鍼灸師会が運営する兵庫鍼灸専門学院の開校に大きく貢献しました。

彼女がこの道に進む道程は極めてユニークです。まず漢文読解力に優れ、「黄帝内經素問・靈枢」（古方漢方）の現代にも通じる知恵に気づきます。しかし古典の理論だけに飽き足らず、臨床の重要性から大阪行岡学園・高等鍼灸マッサージ学校に学び、40歳になって「鍼灸師免許」を取得されます。さらに神戸大学・解剖学教室（武田創教授）で、「経穴の解剖学的解析」も研究されるなど晩学とはいえ、学術研究に基づいた幅広い著述・講演活動により鍼灸界にとて掛替えない人物となります。

万次郎、泰次郎の血筋として、神戸の恩人をもう一人紹介させて頂きました。

